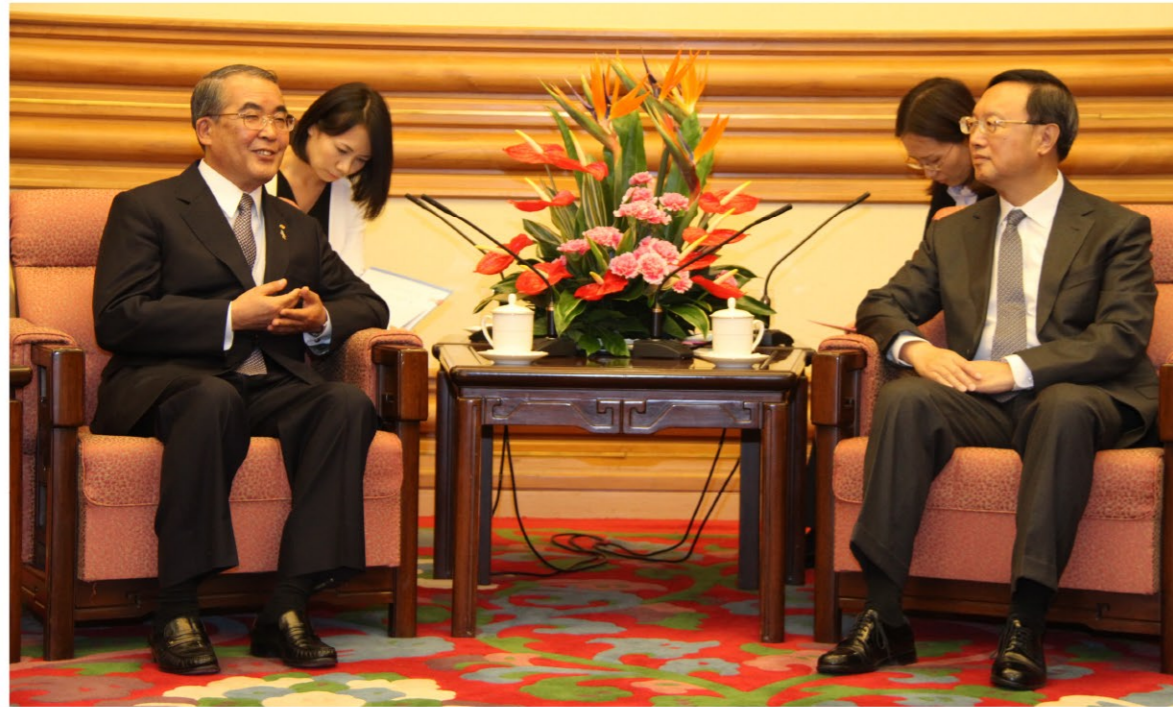


“日中友好は長崎から”

日中平和友好条約締結35周年
長崎県日中親善協議会設立40周年 記念訪問



楊潔篪國務委員(右)と会談する中村知事

2013年は、日中平和友好条約締結35周年と長崎県日中親善協議会設立40周年の節目の年です。これを記念して11月4日から8日まで、中村知事を団長とする約100人の訪中団が北京・上海を訪れました。

北京では、楊潔篪國務委員や中日友好協会の唐家璇会長などの要人と会談を行い、日中交流における本県の役割や地域間交流の重要性、今後の交流拡大への期待を確認。また、政財界や中日友好協会の関係者など総勢約240人が参加する交流レセプション「日

中友好の懸け橋 長崎県の夕べ」を開き、観光や長崎鮮魚、お茶など、本県の魅力をPRしました。

上海では、中国東方航空(MU)グループ代表との会談や県内大学の帰国留学生との交流会など経済、文化における交流を実施。

各地で暖かい歓迎を受けた中村知事は、「今回の訪問を日中関係改善の一助にしたい」と述べ、両国関係に明るい展望を感じさせる訪問となりました。



北京で開催されたレセプション「日中友好の懸け橋 長崎県の夕べ」



レセプションであいさつする中村知事

日本画家 松尾敏男氏 名誉県民に



中村知事から顕彰状が贈られました。

文化勲章を昨年受章した日本画家・松尾敏男氏(長崎市出身)に名誉県民の称号が贈られました。名誉県民は、ノーベル化学賞受賞の下村脩氏に続き、4人目です。

10月1日に行われた顕彰式で、中村知事が「名誉県民として顕彰することは、県民の大きな喜びとなります。」と讃えると、松尾氏は「本当の長崎県民になった。来年の大作には長崎を描き、感謝の気持ちを込めた

い。」と語りました。

松尾氏は大正15年長崎市に生まれ、3才まで居住。日本画界の第一人者として、わが国の芸術文化の振興に大きく貢献され、優れた作品を本県に数多く寄贈されるなど、本県の芸術文化の発展に大きな貢献をいただいています。

ふるさと長崎への思いを強める松尾氏の、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



知事と記念の握手



《月光のサン・マルコ》2001年



《貧しき人》1977年

松尾敏男氏 略歴

大正15年	長崎市今籠町(現・鍛冶屋町)に生まれる
昭和18年	日本画家 壺山南風に入門
昭和24年	第34回再興院展に《埴輪》が初入選
昭和45年	第55回再興院展にて《樹海》が日本美術賞・大観賞を受賞
昭和54年	《サルナト想》により昭和53年度日本藝術院賞受賞
平成12年	文化功労者顕彰
平成21年	日本美術院理事長に就任
平成24年	文化勲章受章